



みやざき市 ケアマネ協だより



TOKYO  OLYMPIC
2020

宮崎市介護支援専門員
連絡協議会
広報誌
発行日：令和3年9月吉日

今年は57年ぶりに東京にてオリンピック・パラリンピックが開催されました。運良くチケットを手に入れた方もいたかと思いますが、残念ながら、新型コロナの為、無観客開催となりテレビの前で観戦されていた方も多くいらっしゃったと思います。甲子園なども開催され、あまりスポーツ観戦をしない方も、今年ばかりはテレビにくぎ付けだったのではないのでしょうか？広報部会は、毎年2回の広報誌の発行を行っていますが、今回もコロナ対策の観点から現地での取材が難しかったのですが、その中でも選りすぐりの記事を掲載したいと思います。

広報部会の岩切委員長と一緒に住んでいるとっても元気で、愛らしくて、癒される家族たちをご紹介します。

今回は、QRコードを読み込むと動画も見れますので、是非ご覧ください。



今年の1月に家族になりました。ミニチュアダックスフンドのムギです。



前の飼い主さんが病気になり3年くらい前に家族になった、ネザーランドドワーフのぺぺです。



家族で一番小さいジャンガリアンハムスターのバナラです。



グレードアップした

福祉用具情報

今回は、新商品の福祉用具の勉強会を兼ねて体験をさせて頂きましたのでご紹介致します。



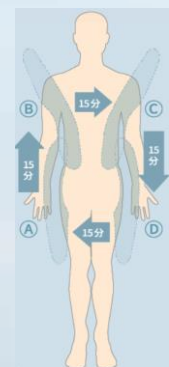
その弐 商品名
こちあ 利楽flou
(エアマットレス)

体位変換機能付き
エアマットレスで史上初!!
設定不要の完全自動運転



電源コードを差し込んだだけで、エアマットレスのかたさ調節も体位変換も自動

- * スモールフロー: 15分間に1つずつ、時計回りに膨張と収縮を繰り返し、自動で小さな体位変換
- * バックサポート: ベッドの背角度が30℃以上になると、座位保持姿勢をサポート
- * 高い耐圧分散性: 暑さ17cmで高い耐圧分散性を発揮、体重20~180kgまで対応。底付きしません
- * 自動しっかり機能: 端坐位を検知しマットレスの内圧が膨らんで4つのスモールフローセルは自動で縮みます



【体験談】

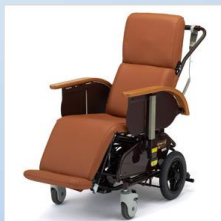
○15分スパンの除圧・体交機能が良い ○寝心地が良い ○設定により除圧部位の変更が出来るところが良い ○体重設定が自動であり、誤差が少ない点が良い 他にも自分が欲しい意見の声がありました。



その弐 商品名
電動昇降フルリクライニングキャリア



横付け機能付



事前に高さを登録し「高さ合わせボタン」を押すと、登録した高さに昇降する



バッテリー内臓

【体験談】

従来のリクライニング型車椅子の特徴として狭い通路や居室での取り回しに苦勞する場面があった。また重量もあるため、操作時の負担もあった。上記の機種については横付け機能が付いており、横付けペダルを踏みこむことによってスムーズに横移動が可能になっており、車椅子⇄ベッド間の移乗時のベッドへの横付け、高さ合わせが容易になっています。また、被験者として乗車しましたが、座り心地、リクライニングのフラット時の寝心地も快適であり、座面が電動によって昇降する際も違和感を殆ど感じることなく高さ合わせが可能でした。本機バッテリー駆動で座面が昇降しますが、バッテリーについては本使用時にコンセントから充電できるとのことです(*´ω`*)

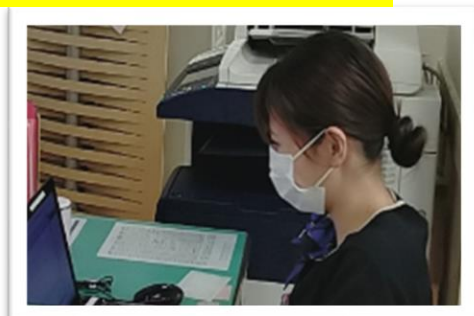
～野崎病院医療福祉相談室のご紹介～

ひとりひとりの気持ちに寄り添ったケアを

医療福祉相談室では、患者様、ご家族、関係機関の皆さまより相談をお受けしています。当院を利用(受診・入院)に繋がりたい、認知症に関して詳しく聞きたいなどございましたら、遠慮なくご相談ください。担当の相談員が親身になって対応いたします。

相談時間：平日9:00～17:00
お問い合わせ：0985-51-3111(代表)

ご相談はお電話及び来院で承っております。
来院相談の場合は事前にご連絡いただくと助かります。



～公益社団法人 宮崎市郡医師会 地域包括ケア推進センターのご紹介～

公益社団法人 宮崎市郡医師会 地域包括ケア推進センターは国が進める「在宅医療・介護連携推進事業」を宮崎市、国富町、綾町で実施するため、令和2年6月から業務を開始しました。

地域包括ケア推進センターが目指すビジョンは、「誰もが自分らしい暮らしを続けられるよう、在宅医療と介護が連携して、きめ細やかにサポートする地域社会の実現」です。

そのためには、多職種が協働して有機的なネットワークを構築することが必要です。もちろん、かかりつけ医が医師会病院などにつなぐ「縦の連携」や「医療連携」も大切ですが、その前後で患者に関わる医療系と介護系の関係者が必要な情報を共有し、効果的な支援につなげる「横の連携」、すなわち「医療介護連携」も重要です。さらにそれを取り巻く「地域」や「行政」も含めた「地域包括ケアネットワーク」の構築を目標に掲げ、その実現に向け、ICTを活用した“宮崎市郡在宅医療介護情報連携システムMICT(みくと)”事業など、さまざまな取り組みを積極的に進めて参ります。

いろいろな課題、問題がありますが、さまざまな取り組みを積極的に進めて参ります。皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

宮崎市郡医師会 地域包括ケア推進センター





聖火ランナーのご紹介



今回、宮崎市で聖火ランナーとして大役を果たされました、
ケアプランセンター家路の綴川易典さんをご紹介します☆

☆聖火ランナーに応募したきっかけを教えてください☆
2019年7月オリンピック聖火ランナーを公募していることを知りました。日本でのオリンピックは一生に一度だけのため、もし当選すればいい記念になると思い軽い気持ちで応募しようと思いました。当時はあまりにも非現実的な事だった為、当選できるとは全く思っていませんでしたが、運良く当選通知を頂きました\(^o^)/



大役を終えての感想



新型コロナ感染拡大のなか一時は辞退することも真剣に考えた程で、日向市に着くまでは複雑な心境ではありましたが、スタッフ・警備車両・派手なスポンサー車両・報道車両・送迎バスなど多くの車両で構成された隊列を見た瞬間、一気に気分が高まりました。周りのスタッフのアドバイスもあり無事に大役を務めることができ正直ホッとしました。また、開会式での聖火リレーを見た時に、自分もその聖火を繋ぐ一端を担えたことに誇りを感じることも出来ました。本当に良い経験をさせて頂いたと感謝しています。「もし聖火トーチを“見てみたい”“触ってみたい”という方がいらっしゃいましたら、遠慮なくお声がけ下さい(*~*)」

豆知識

聖火リレーとは？

ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるものです。オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックを広め、きたるオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役目を持っています。



編集後記

「コロナ、そろそろ何とかしてください！！」と叫びたくなるような毎日ですね。皆さん、お元気でお過ごしでしょうか。何か、外出も外食もままならないのでストレスも溜まりまくりではないでしょうか。でも、状況はみんな一緒ですので、できる範囲でストレスを解消しながら感染リスクを減らしつつ仕事と向き合っていくしかないですねえ。

さて、話は変わりますが、「皆さんの疲れが少しでも吹っ飛ばせば良いなあ」と委員一同で試行錯誤し、ネタを寄せ合いながら今回の広報誌の発行に至りました。読んでいただけると幸いです。

編集スタッフ：広報・渉外委員一同

